

日本語学習ストラテジー

成績上位者と下位者では何が違うのか

森 幸穂

キーワード：言語学習ストラテジー 成績上位者と下位者 漢字と語彙
と文法学習

言語学習ストラテジーは、第二言語習得に影響するといわれている(Oxford, 1990 他)。本研究では、米国州立大学の初級日本語学習者13名(中間試験成績上位者8名、下位者5名)が中間試験までの1ヶ月半、漢字、語彙、文法(中間試験の主な学習項目)をどのように勉強したかを、Eメールダイアリー、インタビュー、フォローアップEメールにより調査した。

その結果、成績上位者も下位者も勉強時間(平均1日約1時間)とモチベーションのタイプ(テストのために勉強する)に差異がなかったにもかかわらず、2グループの勉強の仕方は異なった。成績下位者に比べて成績上位者は1) 何度も同じ練習を繰り返す、2) 様々なストラテジーを使用する(認知、メタ認知、社会ストラテジー)、3) 自分の言語学習をモニターする、4) ターゲットの語彙や文法を使う練習をする、という能動的なストラテジーを使用していることが明らかとなり、教室での具体的なストラテジーの導入が日本語学習に奮闘している学習者を救う足がかりとなるのではないかと考える。

(青山学院大学)